

「米国を再び健康に」委員会が「子供達を再び健康に」戦略を発表

[FreshFruitPortal](#) 2025年9月10日

「米国を再び健康に」(Make America Healthy Again: MAHA)委員会は、「子供たちを再び健康に」(Make Our Children Healthy Again)戦略を発表した。これは、肥満、喘息、がん等の米国で最も蔓延している高リスク小児疾患の増加に対処するための、120を超える施策を含む包括的な計画である。

ロバート・F・ケネディ・ジュニア米国保健福祉長官は「この戦略は、現代史上最も大規模な改革方針を示すものであり、米国の子供と家族を守るため、食品・医療制度の再構築、教育の推進及び科学の活用に取り組むものである」と述べた。

ブルック・L・ロリンズ米国農務長官は、米国の農業者及び畜産業者、並びに農業界全体がこの解決策において果たす重要な役割を強調し、「保健福祉省(HHS)及び環境保護庁(EPA)と連携し、我々は新たな道筋を描き、家族の健康を増進し、最も安全かつ強力で豊富な食品供給によって米国が世界をリードすることを確保する」と語った。

科学と研究の拡充並びに食事指針と「超加工食品」に関する理解の見直しを重視する主要項目に加え、MAHA戦略は、有機認証手続きの簡素化、学校向け農産物供給プログラム及び消費者直販における障壁の緩和、革新的な農産品に対するEPA(環境保護庁)の承認の迅速化等、規制緩和の加速も目指している。

農業界はMAHAの取り組みを歓迎

MAHA委員会による2つ目の報告書の発表を受け、農業界は同報告書及びその中で青果物が果たす中心的役割を歓迎した。

国際青果物協会(IFPA)は報道発表で、同報告書は「栄養を国家的な公衆衛生の優先事項として位置づける重要な一步を記した」とし、「青果物のような『未加工で健康的な』食品が健康の改善と医療費の削減に果たす重要な役割を委員会が認識したことを称賛する。端的に言えば、果実と野菜なしに米国を再び健康にすることはできない」としている。

カリフォルニア州、アリゾナ州、コロラド州及びニューメキシコ州の地域及び地元の家族経営農家を代表する業界団体である西部生産者協会(Western Growers)も、政府のこの取り組みを支持した。

同業界団体の会長兼最高経営責任者であるデイブ・プーリア氏は報道発表を通じ、「青果物の役割を大幅に強化するために長らく求められてきた国の食品・栄養政策の再構築」にMAHA委員会がようやく重点を置いたと述べた。

同氏はまた、米国農業界の強化につながると同氏が考える規制緩和に取り組むトランプ政権に謝意を示し、「MAHA委員会は、米国の生産者がこれらの生鮮果実、野菜及びナッツ類を供給する能力を保護し強化するために必要な研究分野における規制手続きを簡素化し、革新を促進する道筋を示した」と述べた。